

かわまた隆の活動報告

もっと咲け桜川市と市民自治

2023年8月 第8号



今号では、桜川市の財政運営の問題点を指摘し、市民の皆さんにも考えていただきたいと思います。また、従来から批判してきた大和駅北側開発に大きな動きがありますので、報告します。そして、東海第二原発再稼働についての再度の県民投票が予定され、映画会がありますので、その案内を送ります。

使わず、基金に積み立てる・・・市民の福祉はどこに行く

桜川市の財政運営について、常々、疑問に思っています。

- ① お金があっても使わない。
- ② 国の補助金があれば、市税などで行っている事業の財源を国費に振り替え、市税などどんな事業にも使うことのできる一般財源をため込む（節約?）。
- ③ 年度末なりお金が余れば、公共施設整備基金などに積み立てる。
- ④ それでも、大きな黒字（実質収支という）になるので、実質収支率で県内第一位、（超）健全財政であると胸を張る。

何か、おかしいと思いませんか。企業や家庭ならば、売り上げの減少や病気などの心配があり、貯金や内部留保に心がけます。しかし、地方自治体は法律で強制的に税を徴収しますので、（災害があっても、特段の徴収努力をしなくとも）必ず、収入は入ってきます。このほぼ確実に入ってくる市民から徴収する税収入を、国、県、その他の財源も含めて、市民福祉を高めるために、できるだけ大きくして、何倍にもして、市民の方々に早く返すことが、まず、第一の課題であるはずですが。

<積立金はダントツに多く、市民サービスはダントツに悪い>

いつものように、積立金を近隣市と比較しました。桜川市は令和4年度末に「公共施設整備基金」に10億円を積みましたので、市民一人当たり27万円となります。桜川市の税収入の2年分がたまっています。これは市民の皆さんが望んだことなのでしょうか。積み立てるだけで、お金を使わないので、水道料金は県内で二番目に高い。図書館もまだ建設中。市民の足の便も少ない。従って、若い方は市外に出ていき、人口減少率は最も大きい。

<なぜ、市民の福祉に使わないのでしょうか>

6月の定例会では、国のコロナ対策交付金が交付されましたので、これを財源にして、水戸や日立市などと同様に、給食の無償化を提案しましたが、否決されました。市長や市議会の多く

の議員は、お金があっても使いたくないのです。何故でしょうか？ 先行きの収入が心配だから？ 今年（令和5年度）の地方（普通）交付税は7月末に決定しました。54億5千万円です。昨年よりも△4千万円の減ですが、当初予算よりも2億5千万円の増です。先行きは心配なさそうです。市民が福祉サービスを強く要望しない、市役所はこれ以上の仕事をしたくない、お金を使う具体的提案がない、からでしょうか？ でも提案すれば否決する。何故でしょうね。

積立金の比較（令和3年度決算）

単位：億円、万円

	桜川市	笠間市	つくば市	筑西市
実質収支額	18(17) 億円	13	63	27
積立金額	90(100) 億円	149	93	121
一人当たり金額	23(27) 万円	20	4	12

※（ ）は桜川市の令和4年度決算見込み

※積立金とは財政調整基金、減債基金、公共施設整備基金などです。

大和駅北側開発の動き

私は、この開発について、強く批判し、実現可能な方向に転換するよう主張してきましたが、今回、具体的な動きが出てきましたので、報告すると同時に、注意して見守っていきます。

<住宅開発第1期34区画が着工しました>

さくら土地開発合同会社との業務委託契約が結ばれ、造成工事に着手しました。

- ① 第1期工事 34区画（医療センター側）
- ② 平均販売価格等 238㎡ 約500万円
- ③ 令和6年3月に完成 5月から土地引き渡し

土地開発公社との委託契約金額は1億46百万円です。売れ残った場合は、さくら合同会社が残宅地を引き取るようになっており、土地開発公社に損害が出ることはない、市は強調してきました。今後、完売するのか、建物はたつのか、2、3期工事はできるのか（全体で90区画）など、注意してきます。

<ベシアグループが出店>

国道50号の長方地区に「ベシアグループ」が出店し、桜川市と推進協定を結びました。出店するとは正直驚きです。商圈や購買力調査はしているのでしょうか、ベシアは食品スーパーであり、競争の激化は避けられません。オープンは令和7年春ごろだそうです。ベシアグループは、カインズ、ワークマン、ハンズなど面白そうな業態です。グループの流通センターならば理解できますが。市も直売所をつくります。加波山市場と違い、採算は取れるのでしょうか。いずれにしても、無駄な市費が出ていかないよう注意してきます。

あなたはどんな未来を選ぶのか

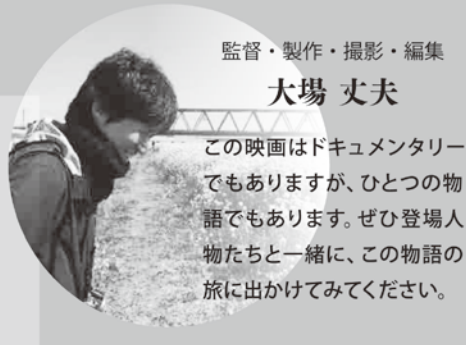


ドキュメンタリー映画

県民投票 2023年 8月27日(日)
13:30 上映開始 (13時開場)



私たちの社会に今足りないのは、対話ではないか。勝ち負けや対立ではなく、お互いに納得できる着地点を見つけること。そんな社会を作りたいという素朴な思いから始まったある市民運動が、茨城県で8万筆の賛同を集めた。東日本大震災を契機に一旦に運転を止めた原子力発電所だが、再稼働へと舵が切られようとしている。未来に、子供たちにどのような社会を残すべきか？ 私たちは正しい答えを出せるのだろうか？ PFF (ぴあフィルムフェスティバル) アワード2021入選作品。



監督・製作・撮影・編集

大場 丈夫

この映画はドキュメンタリーでもあります。一つの物語でもあります。ぜひ登場人物たちと一緒に、この物語の旅に出かけてみてください。

監督・製作・撮影・編集 大場丈夫
出演 鷗沢恵一・姜咲知子・徳田太郎
協力 いばらき原発県民投票の会
茨城県 茨城県議会



日本 | 2021年 | 92分 | カラー

会場 桜川市 真壁伝承館

まかべホール

桜川市真壁町真壁198 Tel. 0296 (23) 8521

料金 無料

主催 いばらき原発県民投票の会さくらがわ

※予約不要

お問い合わせ

☎ 0296-70-4156 (富岡)

✉ cafelogos@icloud.com

再び、友部・上城地区の採石場跡地で不審な動き

友部、上城地区の採石場跡地で不審な山林開発の動きがあります。土地所有者など「友部地区の山林開発」の業者と同じと思われるが、今回は「ブルーベリー」をやりたいなどと言って、県、市や関係地権者に当たっています。市も全員協議会で報告しましたが、早い段階で阻止しないと、違法な山林伐採や産業廃棄物の埋め立てが行われかねません。みんなで注意していきましょう。

ナラ枯れが広がっています・早く手を打ちましょう

里山の麓近くで大きなナラの木が枯れています。今年の春ごろから太いコナラの根元に木くずが見られ始めました。これは、「カシノナガキクイムシ」という甲虫が木に入り込み、これに媒介される菌が増殖して、吸水する導管が侵され水が途絶えて急速に枯れてしまう樹木の感染症です。市は800万円の予算で富谷山周辺の伐採を行うとのことです。今のところ、伐採、運び出し、焼却しか防止策はないようです。ナラ枯れ対策は緊急の課題です。

ドキュメンタリー映画 県民投票 を上映します

東海第二原発の再稼働の賛否を決める県民投票のための署名活動の前段階として、「いばらき原発県民投票の会・さくらがわ」が主催する映画会です。是非、ご覧ください。

*今号は以上です。

Web版でも見るができます。なお、Webには、次の資料を追加掲載しています。

- ・市議会常任委員会視察報告
- ・県民投票について・自分たちの大事は自分たちで決める、住民自治の基本です。
- ・福島第一原発のALPS処理水の海洋放出について

*引き続き、桜川市の課題や市議会活動を報告します。ご意見や市政の調査要望など、ご連絡下さい。お待ちしております。

〒309-1231 桜川市本木1448 **川股 隆**

E-mail : kawamata27takashi@gmail.com

電話 : 0296-58-7034

H P : kawamata-takashi.sakuraweb.com

かわまた隆
公式ホームページ



※このチラシは再生紙を使用しています

予告編

